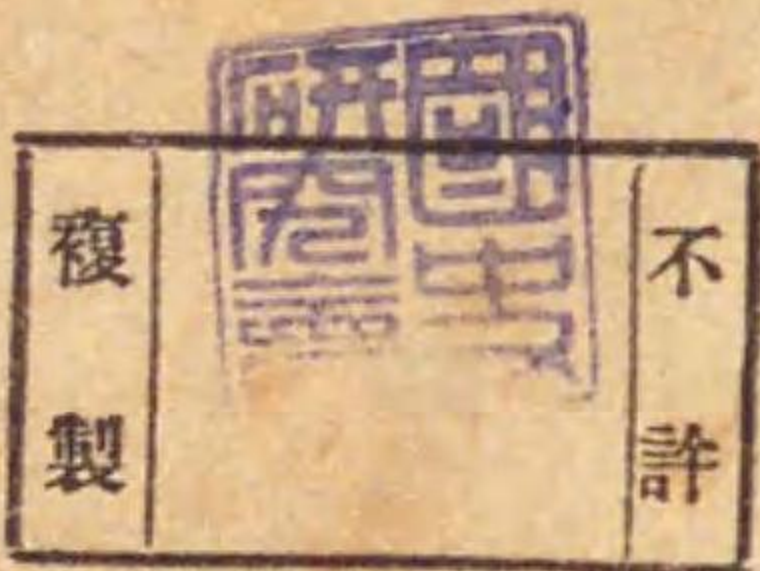


蒲生忠郷  
死去

衛郷舎に一萬五千石、郷成本領四萬五千石を其子兄弟に分ちて給はりける。蒲生彦太夫・關十兵衛も歸參す。仕置は長門守數馬なり。其後忠郷卿疱瘡を煩ひ給ひ、會津に於て逝去。寛永四年丁卯正月四日、廿五歳なり。

蒲生軍記 卷之六 大尾

大正六年二月十三日印刷  
大正六年二月十五日發行



編者

發行者

右代表者

印刷者

印刷所

黒川眞道

國史研究會

今村勝一

榎山定吉

友文社

國史叢書 朝鮮征伐記 全二冊 蒲生軍記

定價金 一圓

發行所

東京市牛込區市ヶ谷柳町二十九番地  
振替貯金口座東京二七〇二四番

國史研究會

東京市牛込區市ヶ谷柳町二十九番地  
東京市神田區三崎町三丁目一番地  
東京市神田區三崎町三丁目一番地



Σ.Κ-90



